



# 令和3年度 宮崎県教育研修センター 選択研修ガイド



「宮崎県新教員研修計画(宮崎県教育研修センター 平成30年)」により、次の4つの視点で構築しています。

- ステージの目標に合わせてステージごとに研修を配置しています。
- 各ステージの基幹研修を補う役割として設定しています。
- 「教員育成指標」や教員のニーズを反映した内容を考え、研修を精選しています。
- 研修受講後にその内容を各学校や地域に広げることがねらいとしています。

研修ステージ	スタートステージ	ファーストステージ		セカンドステージ	ミドルステージ	トップステージ
目 標	・教員に求められる資質・能力について理解を深め、その基盤を身に付ける。 ・教育に対する知見を深め、情熱や使命感を温める。	・教員として必要な基礎的・基本的な能力を身に付けていく。 ・様々な業務に積極的にチャレンジする。		・教員として必要な基礎的・基本的な能力を確立する。 ・専門性を深め、得意分野を伸ばす。	・教員としての専門性を発揮し、組織のミドルリーダーとして活躍するための能力を身に付ける。 ・自分自身のキャリアプランを確立する。	・自分自身の高い能力や専門性を発揮する。 ・指導的教職員として、学校や地域全体の教育力のレベルアップ、人材育成に貢献する。
基幹研修	臨時的任用講師等 基本研修	初期研修	2年経過 研修	5年経過研修	中堅教諭等資質向上研修	トップステージ研修
選択研修 受講対象 <small>※基準としての表記</small>	自身に合った ステージの選択研 修を受講可	★1年目は 受講不可	2年目～中堅研前		中堅研～20年目	トップステージ研修、 21年目～

## ■ 育児休業等で休業・休職中の先生方は『自主研修』として、「選択研修」を受講できます！

育児休業等からの現場復帰に備えて、自主的に自己研鑽ができるよう『自主研修』として受講できるようになりました。ご自身が特に学びたいと感じている研修を選択してください。

- ※ 育児休業等で休業・休職中の方は随時申込みが可能です。
- ※ 申込みについては、下記「受講申込上の留意事項」を確認してください。

## 令和3年度 選択研修はここが変わります。

### ① 全てのステージの方を対象とする研修を新設します。

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実等について、全ての研修ステージの方を対象にした研修会を実施します。ただし、初期研修1年目の先生方は受講できません。

### ② 多様な研修形態による研修会を実施します。

以下の研修形態で研修会を実施し、質の高い研修会の実施と教員の働き方改革の実現を目指します。

集合・対面	従来どおり、県教育研修センターに集合し、講師との対面による研修
集合・オンライン	講師（県外）・受講生（県教育研修センター）によるオンライン研修
サテライト・オンライン	講師（県外）・受講生（各研修会場）によるオンライン研修

## ● 受講申込上の留意事項 ●

○ 下記の内容について十分留意して申し込んでください。

申込方法	<p>① 研修を希望される方は、申込書(7ページ目)に必要事項を記入の上、宮崎県教育研修センターにFAXにて提出してください。  <b>※受講希望の研修日の1か月前までに申し込んでください。</b>  <b>※用紙は研修センターHPからもダウンロードできます。</b></p> <p>② 受講申込後、所属学校長に受講申込みをしたことを報告してください。</p>
受講の決定について	<p>○ 申込書の返信欄に受講の可否を記載してFAXにて通知します。  <b>※ 希望者が定員を超える場合には、受講できない場合があります。</b></p>
受講決定後の流れ 注意事項	<p>○ 受講する研修の実施要項を確認してください。                  ○ やむを得ず欠席する場合は、下記連絡先に電話にて御連絡ください。</p> <p style="text-align: right;">県教育研修センター学習研修課0985-24-3123</p>

※ 講師の所属、職名等は令和3年3月時の情報です。

## 基礎・基本から学びたい方へ（ファースト・セカンドステージの方にオススメ）

### C-1 「主体的・対話的で深い学び」につながる学級経営 ～感情交流から知的交流へ～

6月21日（月）定員：100名

講師 立正大学 特任教授 鹿嶋 真弓

研修形態 サテライト・オンライン

中部：県教育研修センター  
南部：高城生涯学習センター  
北部：延岡市中小企業振興センター

内容 学級集団としての質の高まりを目指し、よりよい人間関係を構築する学級づくりのための理論や手法等を研修します。

### C-2 学級の中で気になる子供の行動の理解と支援

6月24日（木）定員：100名

講師 宮崎大学 准教授 高橋 高人

研修形態 集合・対面

内容 行動療法の考え方に基づいて児童生徒の行動を理解し、その結果を個別指導や全体指導に反映する方法等について学びます。

### C-3 授業づくりの設計図 ～授業をつくるとはどういうことか～

6月25日（金）定員：100名

講師 国士舘大学 教授 澤井 陽介

研修形態 集合・オンライン

内容 学習指導要領の主旨を理論的に理解し、授業改善の方法、評価の在り方等についての研修を通して、授業力の向上を図ります。

### C-4 キャリア・パスポートで日々の授業をつなぐ

7月1日（木）定員：100名

講師 筑波大学 教授 藤田 晃之

研修形態 集合・オンライン

内容 キャリア教育の基本的な方向性及びキャリア・パスポートの活用など、キャリア教育の実践に必要な基礎的・基本的な方策について講義や演習を交えながら学びます。

### C-5 保護者とのよりよい関係づくり ～カウンセリングと協働を生かして～

9月10日（金）定員：100名

講師 関西外国語大学 教授 新井 肇

研修形態 集合・対面

内容 保護者に対するカウンセリングや協働体制等の基本的内容を学び、また、いじめや不登校のケースにどのように対応をしていくか演習や協議を交えながら研修します。

### C-6 学習につまずきを抱える児童生徒への支援

12月9日（木）定員：100名

講師 国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 笹森 洋樹

研修形態 サテライト・オンライン

中部：県教育研修センター  
南郷ハートフルセンター  
南部：都城市高崎保健福祉センター  
北部：延岡市社会教育センター

内容 読み書きに困難のある児童生徒の早期発見・支援について、実践事例や演習等とおして学び、児童生徒の実態に配慮した授業づくりができる資質の向上を図ります。



## 研究と修養

学び続ける教職員として

ブラッシュアップ！

## 課題を解決する力を高めたい方へ (ミドルステージの方にオススメ)

### D-1 学校全体で考えるカリキュラム・マネジメント ～深い学びの実現のために～

6月18日(金) 定員: 100名

講師 國學院大学 教授 田村 学

研修形態 集合・対面

**内容** 深い学びの実現に向けて、学校全体で考える「カリキュラム・マネジメント」の意義と必要性について理解し、学校教育の改善・充実の好循環を生み出していく組織運営への向上を図ります。

### D-2 キャリア教育の充実に向けて ～地域と学校でつくる!これからのキャリア教育～

7月12日(月) 定員: 100名

講師 大正大学 教授 浦崎 太郎

研修形態 集合・オンライン

**内容** キャリア教育の基本的な方向性及びカリキュラム・マネジメント、社会に開かれた教育課程との関連を理解し、ミドルリーダーとして組織全体でキャリア教育を推進するための方策について講義や演習を交えながら学びます。

### D-3 校内における人材育成 ～学びの場をどうつくるか～

10月1日(金) 定員: 100名

講師 帝京大学大学院 講師 町支 大祐

研修形態 集合・オンライン

**内容** 校内研修の推進についての実践的な研修を通して、リーダーシップを発揮しながら組織や学校運営に貢献する資質・能力の向上を図ります。

### D-4 子供の発達を支える関係機関との連携

10月4日(月) 定員: 100名

講師 国立特別支援教育総合研究所 主任研究員 井上 秀和

研修形態 集合・対面

**内容** 発達障がいを含むすべての障がいのある子どもに対する切れ目のない支援の提供に向けた、関係機関との連携の在り方について研修します。

### D-5 不登校未然防止のための集団づくり ～居場所づくり、きずなづくり～

11月8日(月) 定員: 100名

講師 国立教育政策研究所 総括研究官 小野 憲

研修形態 集合・オンライン

**内容** 不登校の未然防止の在り方について理解を深め、組織的に協働しながら児童生徒理解に努め、学校運営に寄与することのできる資質・能力の育成を図ります。



## マネジメント力を高めたい方へ (トップステージの方へオススメ)

### E-1 一歩前進!社会に開かれた教育課程の実現を目指して

7月6日(火) 定員: 100名

講師 岡山大学大学院 教授 熊谷 慎之輔

研修形態 集合・オンライン

**内容** 地域とともにある学校の推進に向けて、地域と学校が連携・協働し、これからの学校づくり・人づくりに取り組む重要性を学び、社会との連携及び協働によりその実現を図っていく社会に開かれた教育課程の実現を目指す講義や演習を行います。

### E-2 効果的な対話をつくり出すために ～コーチングのスキルとその活用～

7月29日(木) 定員: 100名

講師 別府大学 教授 佐藤 敬子

研修形態 サテライト・オンライン

中部: 県教育研修センター  
南部: 高城生涯学習センター  
北部: 延岡市社会教育センター

**内容** 「コーチングの理論と実際」について理解し、それらをよりよく生かすための研修を行うことによって、チームリーダーとしての自覚をもつとともに、同僚に助言をするための資質を育成します。

### E-3 子供を取り巻くネット社会への対応

9月2日(木) 定員: 100名

講師 兵庫県立大学 准教授 竹内 和雄

研修形態 集合・対面

**内容** 子供を取り巻くネット環境への危機意識を高めるとともに、内容 諸問題に適切に対応するための資質の向上を図ります。

### E-4 ポジティブ行動支援で実現!児童生徒の主体性を伸ばす学級・学校づくり

9月24日(金) 定員: 100名

講師 宮崎大学 准教授 半田 健

研修形態 集合・対面

**内容** 通常の学校におけるすべての児童生徒の望ましい行動を育てるための組織的アプローチの手法について学び、演習を通して行動支援計画等の作成を行います。



## 管理職（校長、副校長・教頭、事務長）としてのマネジメント力を身に付けたい方へ

※ 他の研修ステージの方の受講はできません。

**F-1** 管理職のための特別支援教育研修  
～ポジティブ行動支援で実現!児童生徒の主体性を伸ばす学校づくり～

9月6日(月) 定員:100名  
講師 宮崎大学 准教授 半田 健  
研修形態 集合・対面

**内容** 通常の学校におけるすべての児童生徒の望ましい行動を育てるための組織的アプローチの手法について学び、特別支援教育を中核とした学校経営の手法を学びます。

**F-2** 管理職のための危機管理研修  
～うらたえない、保護者・地域との関わり方～

10月18日(月) 定員:100名  
講師 大阪大学 名誉教授 小野田 正利  
研修形態 集合・対面

**内容** 管理職として、職員や保護者、地域関係者とのよりよい関係づくりや緊急課題の状況におけるリーガルマインドに基づいた対応等について学びます。

## 全ステージ対象研修（全ての研修ステージの方を対象としています。）

※ ただし、初期研修1年目の方は、受講できません。

**G-1** 今求められる学力  
～評価を指導や学習に生かす～

9月28日(火) 定員:100名  
講師 京都大学大学院 准教授 石井 英真  
研修形態 サテライト・オンライン

中部: 県教育研修センター  
南部: 高城生涯学習センター  
北部: 延岡市社会教育センター

**内容** 新学習指導要領の主旨を理論的に理解し、今求められる学力・能力や評価の在り方等についての研修を通して、授業力の向上を図ります。

**G-2** 「わかる・できる・楽しい授業」創造のための方策  
～「深い学び」につながる学級づくりを通して～

11月18日(木) 定員:100名  
講師 愛媛大学 名誉教授 平松 義樹  
研修形態 集合・対面

**内容** 確かな学力を育てるための「認め合い、支え合える学級づくり」について理解を深めるとともに、「わかる・できる・楽しい」授業について実践的な指導力の向上を図ります。

## ● 実施要項について

令和3年度選択研修実施要項は**4月2日**より県教育研修センターホームページにて確認できます。  
★実施要項は変更になることがあります。実施日1か月前をめどに再度確認をしてください。

### 実施要項ダウンロードまでの手順

- ① トップページの「教職員研修計画」をクリックする。
- ② 「教職員研修年間計画」をクリックすると、研修案内カレンダーが表示されます。
- ③ ◀ ▶ をクリックして該当月のカレンダーを表示させます。
- ④ カレンダー内の研修名をクリックすると、詳細が表示されます。
- ⑤ 「実施要項」をクリックするとダウンロードされます。



宮崎県教育研修センターホームページアドレス (URL)  
<http://mkkc.miyazakaki-c.ed.jp>



# ■ 職能選択研修

自らの職能を高めたい方のための希望研修です。  
※対象に指定があるので、ご注意ください。

I-1

## 主体的・対話的で深い学びにつなげる生活単元学習

8月3日(火) 定員:100名

講師 広島大学大学院 准教授 竹林地 毅

対象 特別支援学校、特別支援学級担任等

研修形態 集合・対面(県立のみ自校にてサテライト)

学習指導要領のキーワードをふまえ、知的障がいのある児  
内 童生徒に対する「各教科等を合わせた授業」の本質や魅力に  
容 迫り、生活に根ざした教育を実現するための授業改善を図り  
ます。

I-2

## 多様化する心身の健康課題を抱える児童生徒への対応

8月18日(水) 定員:100名

講師 佐賀女子短期大学 准教授 白濱 洋子

対象 養護教諭、養護助教諭

研修形態 集合・対面

学校保健活動を推進していく上で役立つ保健室経営、保健  
内 管理、保健教育、健康相談等についての研修を深め、養護教  
容 諭等の資質能力の向上を図ります。

I-3

## 学校教育における効果的な人権・同和教育の指導の工夫

11月12日(金) 定員:100名

講師 南九州短期大学 名誉教授 佐保 忠智

対象 人権・同和教育担当

研修形態 集合・対面

人権教育の具体的な方策や人権に関する新たな問題について  
内 研修を行い、多様な人権課題に対する学校における人権教育の  
容 推進について理解を深めるとともに、実践的指導力の向上を図  
ります。

I-4

## 学校全体で取り組む食育の進め方

11月15日(月) 定員:100名

講師 長野県立大学 教授 笠原 賀子

対象 栄養教諭、学校栄養職員

研修形態 集合・対面

各学校において食育を推進する上で役立つ食に関する指導、  
内 学校給食の管理等についての研修を深め、栄養教諭・学校栄養  
容 職員の資質の向上を図ります。

I-5

## 児童生徒が主体的に学ぶための学校図書館活用

11月19日(金) 定員:100名

講師 立教大学 兼任講師 中山 美由紀

対象 司書教諭、図書主任等

研修形態 集合・対面

各学校の学校図書館の利活用を推進する上で役立つ読書活動  
内 の推進、学び方指導の充実等についての研修を深め、司書教  
容 諭・図書主任の資質の向上を図ります。

I-6

## 子供の特性に応じた授業づくりのための教材・支援機器等の活用

11月26日(金) 定員:60名

講師 国立特別支援教育総合研究所 総括研究員 杉浦 徹

対象 特別支援学校、特別支援学級担任、通級による指導担当者等

研修形態 集合・対面

内容 (別途お知らせします)

I-7

## 事務職員 キャリアアップ研修① 情報社会を生きる子どもたち(午前) 県内キャリア教育の最前線(仮)(午後)

6月29日(火) 定員:100名

講師 (株)ラック 客員研究員 七條 麻衣子(午前)  
宮崎県キャリア教育支援センターコーディネーター(午後)

対象 事務職員

研修形態 集合・対面

午前:ネット社会における現代の子どもたちの現状やネットトラブ  
内 ル・サイバー犯罪の加害・被害を防ぐための情報モラル・対  
容 応策を学びます。  
午後:知っているようで知らない県内キャリア教育の実践的な取組を  
直に学び理解を深めます。

I-8

## 事務職員 キャリアアップ研修② 学校におけるリスク・マネジメント

9月15日(水) 定員:100名

講師 鳴門教育大学大学院 特命教授 阪根 健二

対象 事務職員

研修形態 集合・対面

学校で遭遇するかもしれない事件・事故。現実には起きうるさ  
内 まざまなリスクを想定し、実践的かつ有効的な対応策を演習や  
容 協議を交えながら具体的に学びます。

I-9

## 事務職員、校長、副校長・教頭 キャリアアップ研修③ 先生が忙しすぎるのは子供たちのためにもならない ～働き方を見つめなおす理由と方法～

10月25日(月) 定員:100名

講師 教育研究家 妹尾 昌俊

対象 事務職員、校長、副校長・教頭

研修形態 集合・対面

「先生が忙しすぎるのは子どもたちのためにもならない。」  
内 働き方を見つめ直す理由と方法を管理職と事務職員が合同で考  
容 える研修を行います。



# 宮崎大学等が実施する教科等研修

【対象の表記について】

小学校→小 中学校→中 義務教育学校→義  
高等学校→高 特別支援学校 → 特

## L-1 無償化政策に対応した進路指導

6月11日(金) 9:30~15:00

会場 宮崎大学

校種指定 中・義・高

定員: 20名程度

**内容** 就学前教育から高等教育までの無償化政策への正しい認識を身につけ、生徒や保護者に周知させ活用させることができるような指導助言ができるようになります。

## L-2 算数科の授業づくり

7月13日(火) 9:30~16:30

会場 宮崎大学教育学部附属小学校

校種指定 小・義

定員: 20名程度

**内容** 新学習指導要領が令和2年度から全面実施となりました。その学習指導要領のめざす算数科授業とはどのようなものなのか、実際に授業づくりを行い、実施、評価、改善をしながら考えていきます。

## L-3 図画工作科の授業づくり ～芸術家の知を生かした芸術教育～

7月20日(火) 13:35~16:30

会場 宮崎大学教育学部附属小学校

校種指定 小・義

定員: 10名程度

**内容** 芸術家と協働して実施する授業構成や学び合いの特質を検討します。附属小学校の協力を得て、造形の知を生かした芸術領域の授業実践の参観及び事後検討ワークショップを行います。

## L-4 理論を学び直したい先生のための理科教育学

1月31日(月) 13:30~16:30

会場 宮崎大学

校種指定 小・中・義・高

定員: 20名まで

**内容** 全ての校種の先生方を対象に、実際に理科を教えている今だからこそ実感できる「理科を教える上で大切なこと」や「新しい理科教育の方向性」について大学教員が分かりやすく解説していきます。改めて理科教育学の理論を学び直すことで、新しい時代の指導理念へとアップデートするための一助となることをめざします。

## L-5 単元のまとまりを意識した中学校社会科授業構成 ～授業実践の分析を通じて～

11月11日(木) 9:30~16:30

会場 宮崎大学

校種指定 小・中・義・高・特

定員: 20名程度

**内容** 具体的な授業分析を行うことを通じて、単元のまとまりを意識した中学校社会科授業構成の意義と方法について学びます。

## L-6 社会科の授業づくり ～授業の分析力を高める逆引き指導案作成～

10月28日(木) 9:30~16:30

会場 宮崎大学教育学部附属小学校

校種指定 小・中・義・高・特

定員: 10名程度

**内容** 小学校社会科の授業を参観した後に学習指導案の形に書き内表してもらいます。授業分析力を中心とする授業力の向上を容目指します。

※ 中・義・高は社会科、地理歴史科、公民科担当者

## L-7 和歌短歌の主体的・対話的活動の授業実践

11月9日(火) 9:30~16:30

会場 宮崎大学教育学部附属中学校

校種指定 中・義・高

定員: 15名程度

**内容** 中学校教材となっている和歌短歌に関して、主体的対話的授業実践を考えるとともに、自らが短歌創作に取り組むこととて、学習者と豊かな言語生活を共有する授業者となることを目指します。

## L-8 小・中・高を見通した家庭科の授業づくり

11月18日(木) 13:30~16:30

会場 宮崎大学(技術・家庭科棟)

校種指定 小・中・義・高

定員: 20名程度

**内容** 小・中・高を見通した家庭科の授業実践をストップモーション方式で検討し、授業構想の視点および評価について議論を深めていきます。

※ 免許外で家庭科をご担当の先生方の参加も歓迎します。

## L-9 中学校数学における授業づくり

11月19日(金) 9:00~16:30

会場 宮崎大学教育学部附属中学校

校種指定 中・義・高・特

定員: 20名程度

**内容** 中学校数学科の指導の在り方について、全国学力・学習状況調査や新学習指導要領に関する大学教員の講義、実際の授業分析、ワークショップ形式の事後検討会を通して検討します。

## L-10 アクティブ・ラーニングによる体育科の授業づくり

11月26日(金) 13:30~16:30

会場 宮崎大学教育学部附属小学校

校種指定 小・中・義

定員: 30名程度

**内容** 新しい学習指導要領の改訂の大きな柱である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた体育科の授業づくりを実践的に検討していきます。

## L-11 授業の成立と学習集団づくり

2月22日(火) 13:30~16:30

会場 宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター

校種指定 小・義

定員: 15名程度

**内容** 子どもたちがもっている授業観や学習観を見極め、子どもたちと教科内容をつなぐ教材をどのようにつくり、一年間を通してどのようにかわりあいのある授業を子どもたちとつくっていくのか、教科の本質を子どもたちと追究する学習集団づくりの在り方を検討します。

## L-12 音楽科の授業づくり ～ICT活用の可能性と課題～

11月11日(木) 13:00~16:30

会場 Zoomを活用した遠隔での実施

校種指定 小・中・義・高

定員: 20名程度

**内容** ICTを活用した授業実践に関する事例報告やオンラインワークショップを通して、音楽科におけるICT活用の可能性や課題について検討していきます。(参加者の受講環境を条件としたい: WinやWi-Fi環境等)

# 育児休業等で休業・休職中の方用

宮崎県教育研修センター 選択研修FAX申込書 0985-32-1664

職員番号	氏 名
所属学校名	所属学校電話番号
FAX番号(所属学校もしくは受講通知が届くFAX番号を記入してください。)	
緊急連絡先(確実に連絡が取れる電話番号等を記入してください。)	
希望する研修記号-番号	希望する研修名
—	
—	
—	
—	

ここから下は受講通知の際に使用するので書き込まないでください。

## 宮崎県教育研修センター 選択研修 受講通知

受講については下記のとおり決定しましたので、お知らせします。

希望する研修記号-番号	希望する研修名	受講の可・不可
—		可 ・ 不可
—		可 ・ 不可
—		可 ・ 不可
—		可 ・ 不可